

## ● 指導のポイント

### 【つながり構想図を活用した道德教育】

本校では、学校教育目標である「夢に向かい、チャレンジする津田小の子」の実現に向け、自らの目標を持ち、その実現に向かい努力すること、その過程において自己肯定感を高め、友だちの良さを認め合うことでお互いの存在感を感じ、協力して高まっていくことの喜びを体感させること等を大切にしながら道德教育を推進している。また、目指す児童像の実現に向け、重点項目を「生命尊重」と「人間関係づくり」の2つとし、「いのち・つながり」をキーワードとしながら、教育活動全体を見据えた取組を行っている。

本テーマである「いじめ防止や生命尊重の高まり」を図っていくためには、全ての教育活動を通して人間性の涵養を進めていく必要がある。つまり、道德で考えたことや学んだことを実生活と結びつけていくためにも他教科・領域との関連を明らかにしながら道德教育に取り組む必要があると考えた。そこで、道德の時間と他教科等とのつながりを図るために、授業を計画する段階で道德の時間と他教科等の関連を示した「つながり構想図」を作成することとした。

道德の時間を中心に、左右に関連する他教科・特別活動・外国語活動・総合的な学習の時間・学校行事・日常活動をおき、つながりが一目で分かるよう構造化した。これにより、指導者が他教科と本時の学習のねらいとの関連を意識して道德教育に取り組むことができる。特に、今年度は更に、テーマを決め、そのテーマに関連する内容項目をつなげた学習のまとまりを設定した。第3学年では、「自分も友だちも大切に作る心」というテーマで、関連する内容項目をつなげた学習のまとまり（4時間）を設定し、道德の時間の学習を進めた。つながりをもって学習することにより、テーマに迫っていくことができる。

学校教育目標

夢に向かいチャレンジする津田小の子  
いのち つながり

学校研究主題

人とかがわり合い、意欲的に課題を解決しようとする児童生徒の育成

自己の生き方についての考えを深める道德の授業



各教科

総合的な学習の時間

特別活動（体験活動等）

日常活動

学習のまとまりの振り返り

授業を支える基盤

家庭

学校

地域